

ニチモウ株式会社

(証券コード：8091 東証一部)

2021年(令和3年)3月期
決算短信補足説明資料

2021年(令和3年)5月14日(金)

2021年(令和3年)3月期決算

● 日本経済

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を追うような形で国内でも感染が拡大し、昨年4月に史上初となる緊急事態宣言が発令され、経済活動が制限される非常に厳しい状況に陥った。宣言解除後から夏場にかけて各種政策効果などにより、徐々に持ち直しつつあったが、年末にかけて感染が再拡大し、今年に入り2度目の緊急事態宣言が発令され、足元では変異株による第4波襲来の懸念など、景気は一段と先行き不透明な状況が続いている。

● 水産業界・食品分野

水産、水産加工・流通、食品の各分野については、世界的な水産物需要が拡大する一方で、国内では新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドと外食需要の消失や外出自粛にともない消費者の節約志向や低価格志向が強まり消費マインドも低調に推移するなど、大変厳しい環境下にあった。

● ニチモウグループ

新型コロナウイルス感染症の影響については、営業活動の制限により、海外からの食品原料の買付や製品の輸出入などの業務に支障をきたす事態となったが、役員・従業員の健康と安全を最優先に、マスク着用等の安全衛生の徹底、在宅勤務や時差出勤の推進、ウェブ会議の活用といった対策を講じるなど、感染拡大の防止に努めた。

(単位：百万円)

	2021年3月期	2020年3月期	前期比	前期増減率
売上	113,317	117,900	▲ 4,582	▲ 3.9%
営業利益	2,177	1,910	+266	+14.0%
経常利益	2,362	2,338	+23	+1.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,491	2,365	▲ 873	▲ 36.9%

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

資産の部

流動資産 45,545(+1,841)

固定資産 19,606 (+1,216)

繰延資産 78 (+21)

総資産 65,230 (+3,078)

負債の部 47,883 (+1,232)

流動負債 32,415 (+565)

固定負債 15,468 (+666)

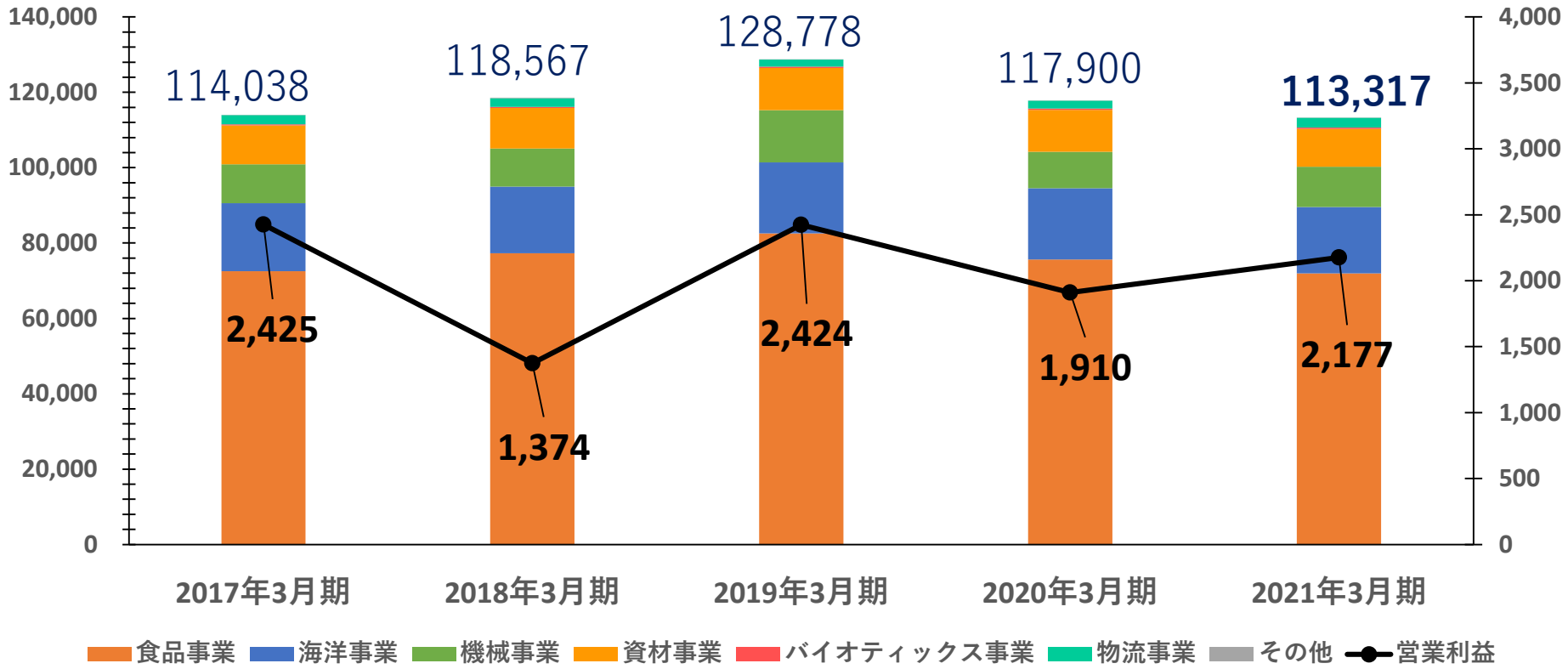
純資産の部 17,347 (+1,846)

自己資本比率 26.4%(+1.6%)

事業別実績

事業別実績：売上高/営業利益(最近5年間の実績推移)⁴

(単位：百万円)



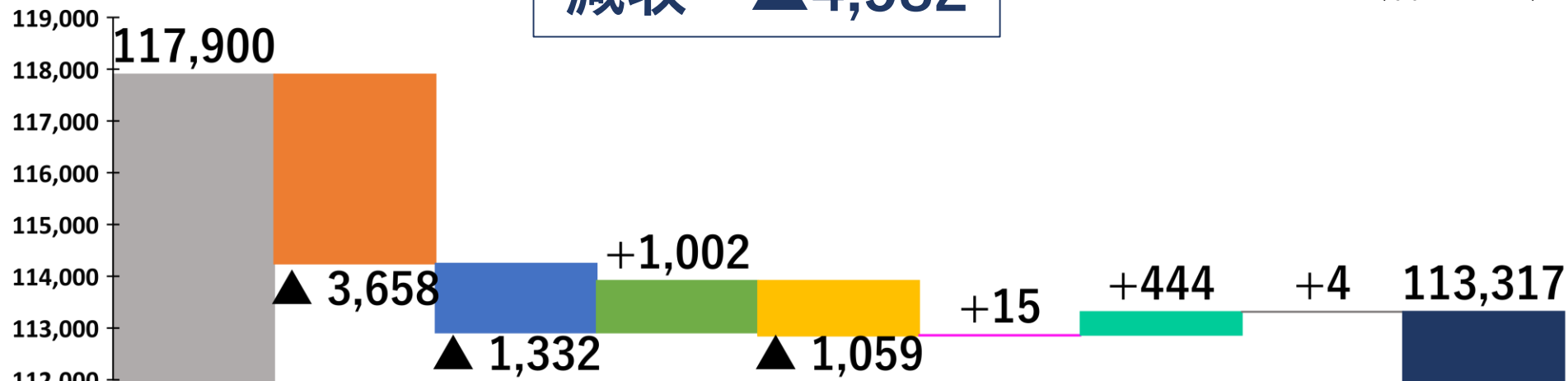
事業年度	増減の主要な要因
2021年3月期	減収:[食品事業]コロナ禍で外食向け販売減、増益:[機械事業]巣ごもり需要拡大で受注増など
2020年3月期	減収:[食品事業]海外子会社株式譲渡、増益:[海洋事業]官公庁向け漁具資材の販売増など
2019年3月期	増収増益:[食品事業]カニ販売増、[機械事業]大型案件受注増など
2018年3月期	増収:[食品事業]すり身販売量増、減益:[食品事業]海外子会社の業績不振など
2017年3月期	増収増益:[海洋事業]養殖資材販売増、[機械事業]設備受注増など

事業別増減分析(前期比)

【売上】

減収 ▲4,582

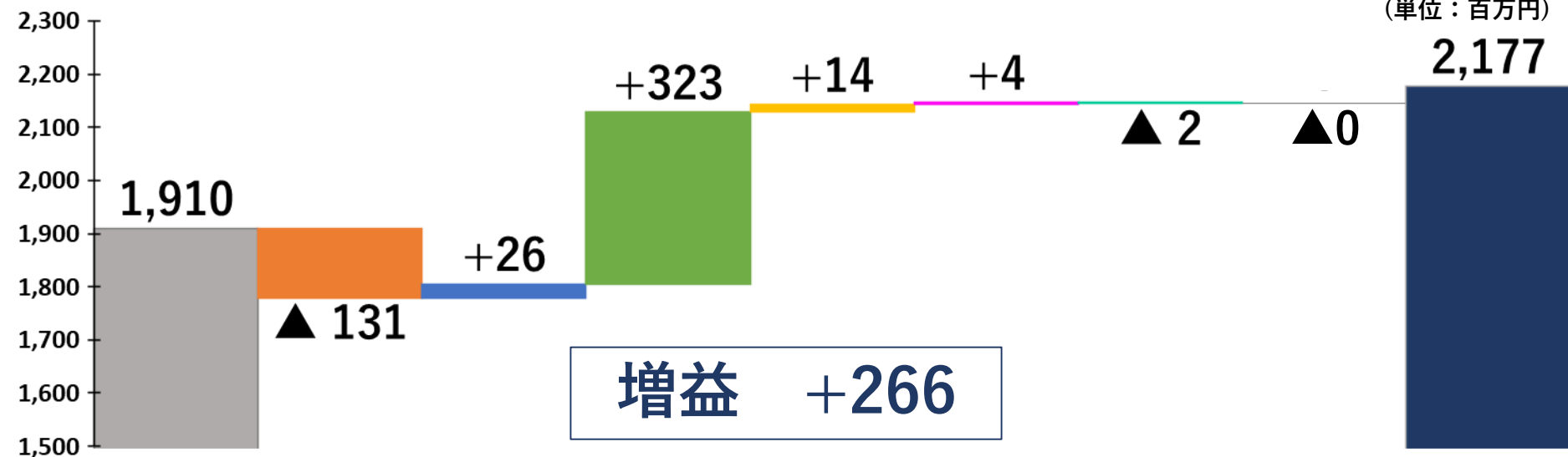
(単位：百万円)



【営業利益】

(単位：百万円)

増益 +266



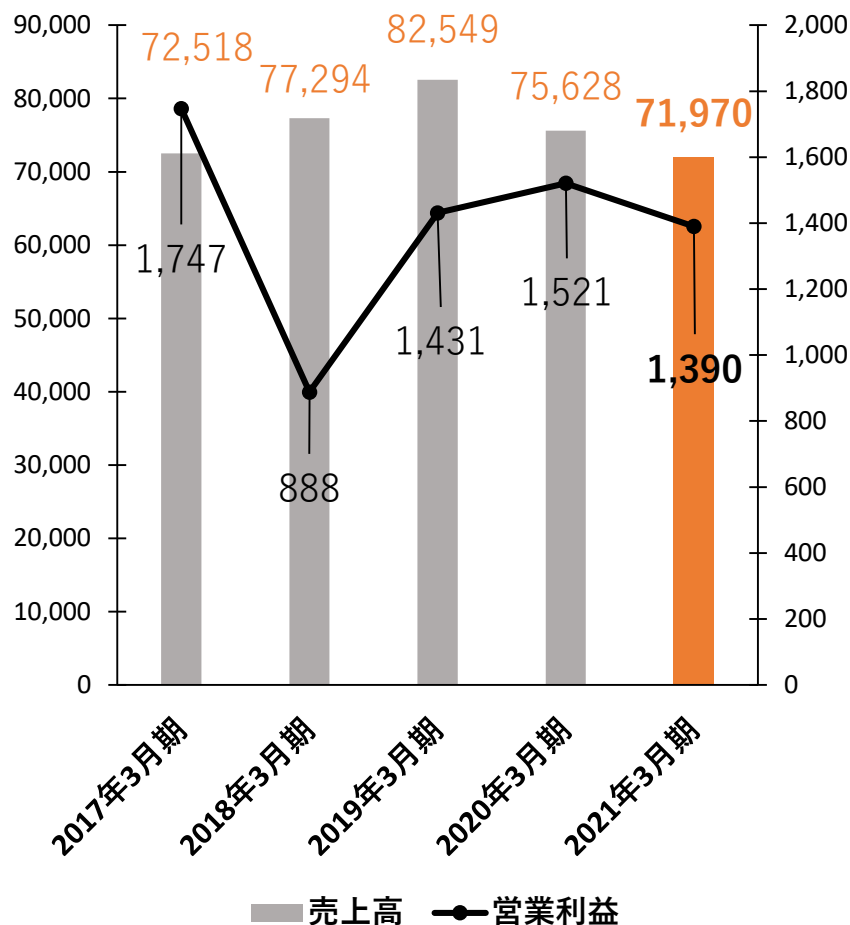
2020年3月期 食品事業 海洋事業 機械事業 資材事業 バイオティックス事業 物流事業 その他事業 2021年3月期

(2021年3月期)

減収(▲3,658)減益(▲131)

最近5年間の実績推移

(単位：百万円)



<すり身部門>

- ・外出自粛に伴い、土産向け練り製品販売が振るわず
 - ・北海道産の取扱量が増加し
- 減収増益

<鮮凍水産物部門>

- 【カニ】巣ごもり需要拡大で通販は伸長、
外食・観光向け販売は低迷
 - 【助子】原料買付に苦戦、生産体制を見直し
- それぞれ減収減益
- 【北方凍魚】採算重視の販売へ切り替え
- 減収増益

<加工食品部門>

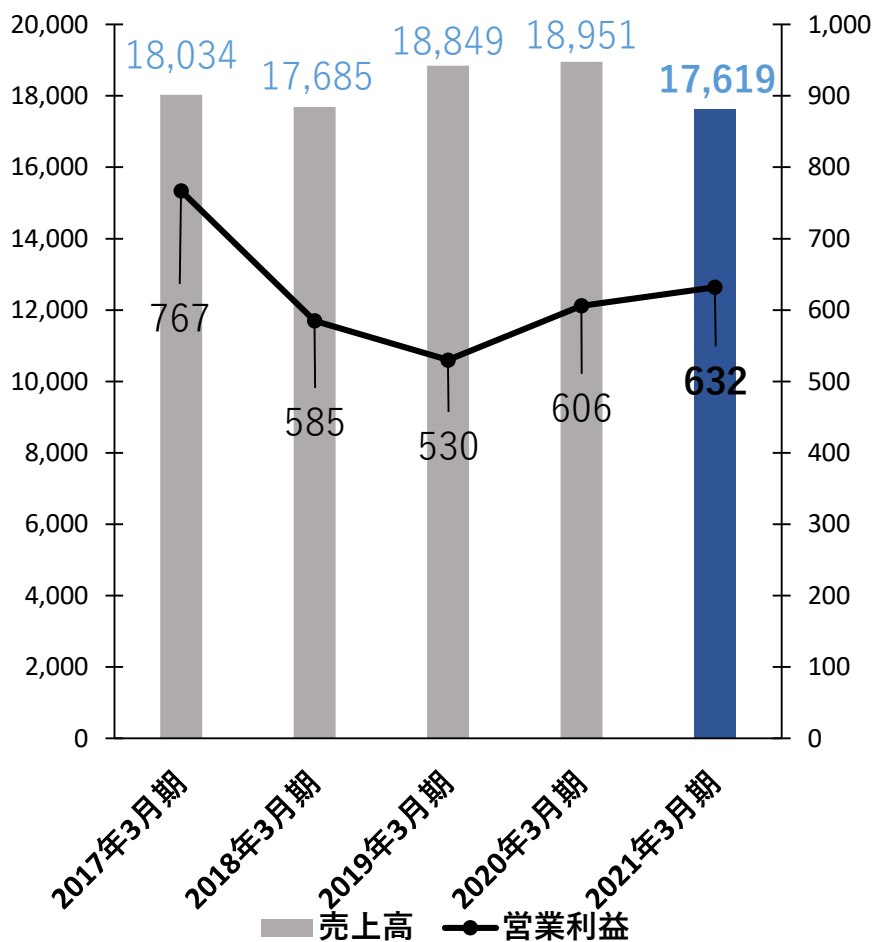
- ・営業活動の制限に伴い、量販店向け
切身・干物商材の販売は堅調に推移
 - ・寿司種・具材等の販売が低迷し、
煮魚・焼き魚の新商品開発計画が遅延
- 減収減益

(2021年3月期)

減収(▲1,332)増益(+26)

最近5年間の実績推移

(単位：百万円)



< 漁網・漁具資材部門 >

- ・依然として北海道沿岸において水揚げの不振により、資材購買意欲は低下
- ・官公庁向け漁具資材や海外まき網用漁具資材などの販売が堅調に推移

➔増収増益

< 船舶・機械部門 >

- ・船体一括案件の受注
- ・船舶用機器類の販売が低調に推移

➔減収減益

< 養殖部門 >

- ・コロナ禍で一部魚種における成魚の相場が低迷
- ・海苔機資材の販売も振るわず

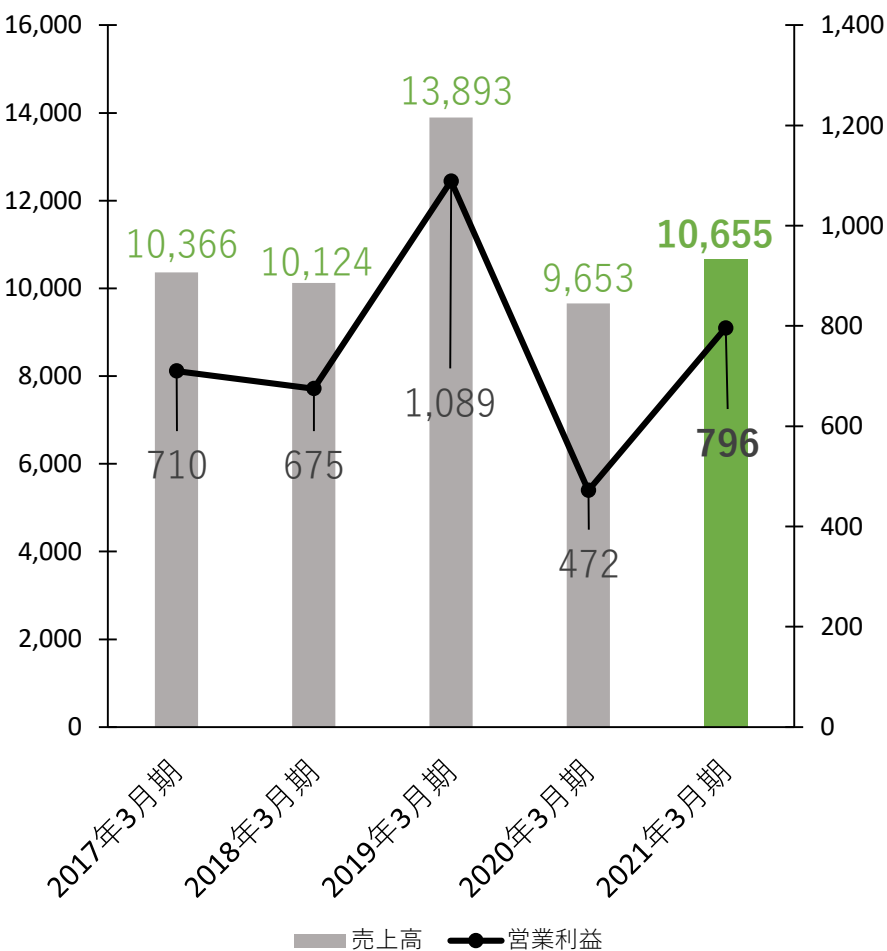
➔減収減益

(2021年3月期)

増収(+1,002)増益(+323)

最近5年間の実績推移

(単位：百万円)



<国内・海外>

- ・海外では新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、大型案件の見送りや現地での据付工事の遅延が発生
- ・国内では巣ごもり需要の拡大に伴い「総菜加工業界・豆腐業界・練り製品業界」を中心に食品メーカーから幅広い加工機械の受注が伸長

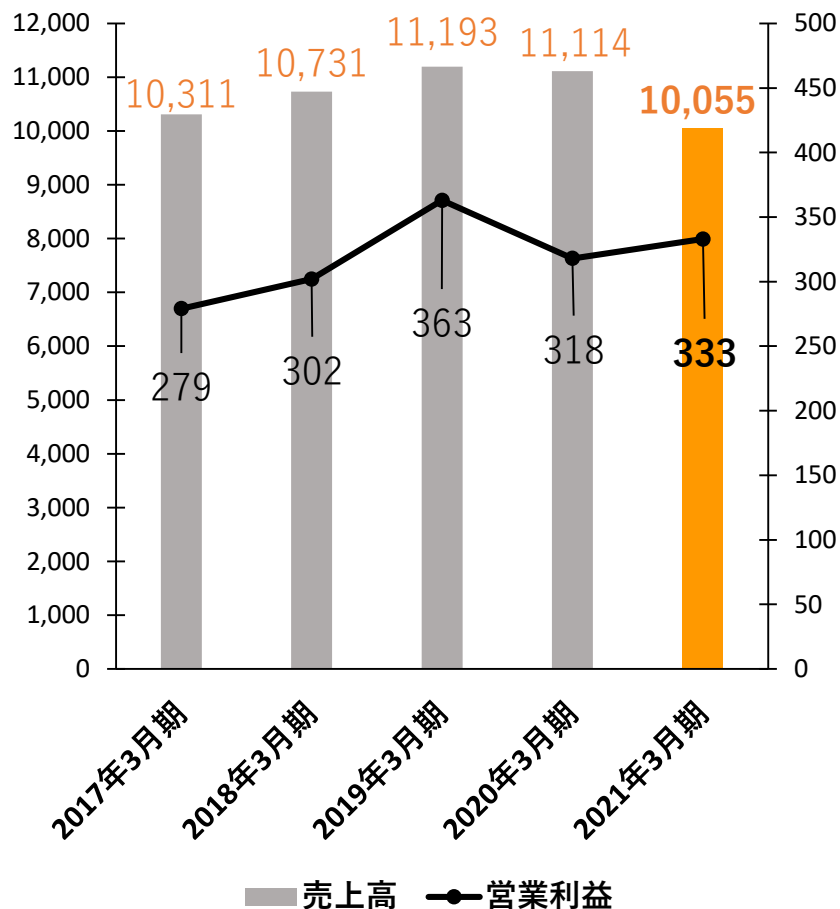
→増収増益

(2021年3月期)

減収(▲1,059)増益(+14)

最近5年間の実績推移

(単位：百万円)



< 化成品部門 >

- ・ 合成樹脂は、コロナ禍で主力の住宅用部材シートや印刷用フィルムの受注が落ち込む

➔ 減収減益

- ・ 包装資材は市況が順調に推移

➔ 増収増益

< 農畜資材部門 >

- ・ コフナや肥料の販売は堅調に推移
- ・ ビニールハウスの販売が振るわず

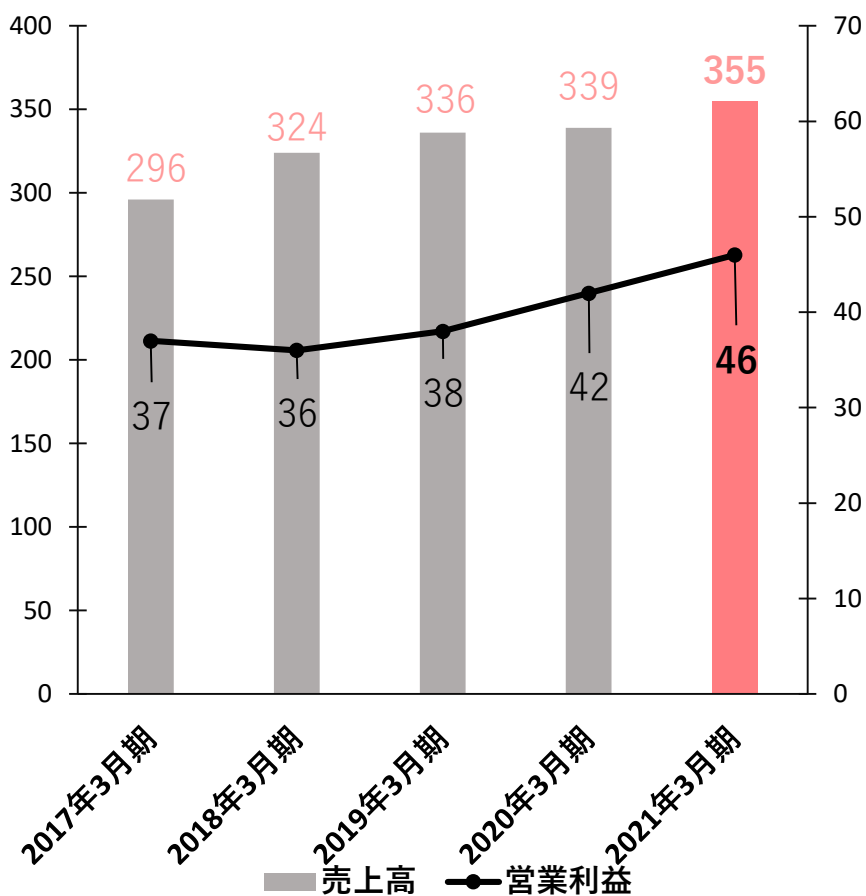
➔ 減収減益

(2021年3月期)

増収(+15)増益(+4)

最近5年間の実績推移

(単位：百万円)



<バイオティックス事業>

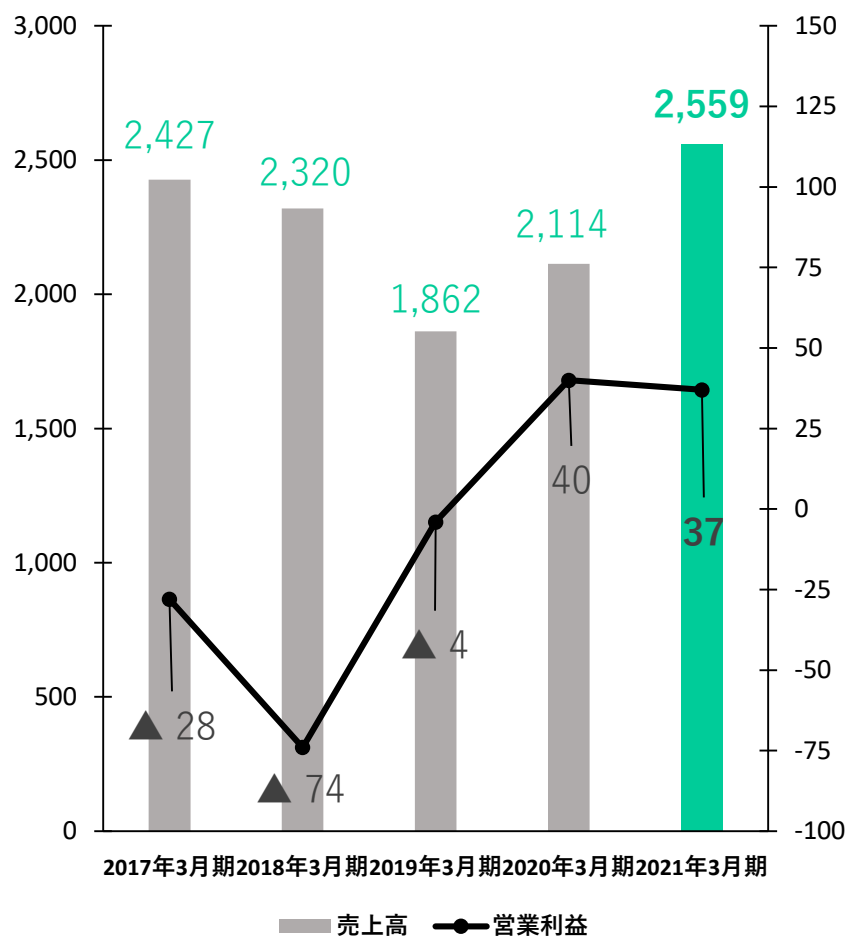
- ・ 大手健康食品メーカー向けに「アグリマックス」や「イムバランス」の素材販売の拡販
- ・ 薬局向けOEM商品販売などが順調推移
➔増収増益

(2021年3月期)

増収(+444)減益(▲2)

最近5年間の実績推移

(単位：百万円)



< 物流事業 >

- ・ 巣ごもり需要の拡大により、食品・飲料・菓子などの配送業務は増加
- ・ 深刻な人手不足による対応経費が増加

➔ 増収減益

2022年(令和4年)3月期計画

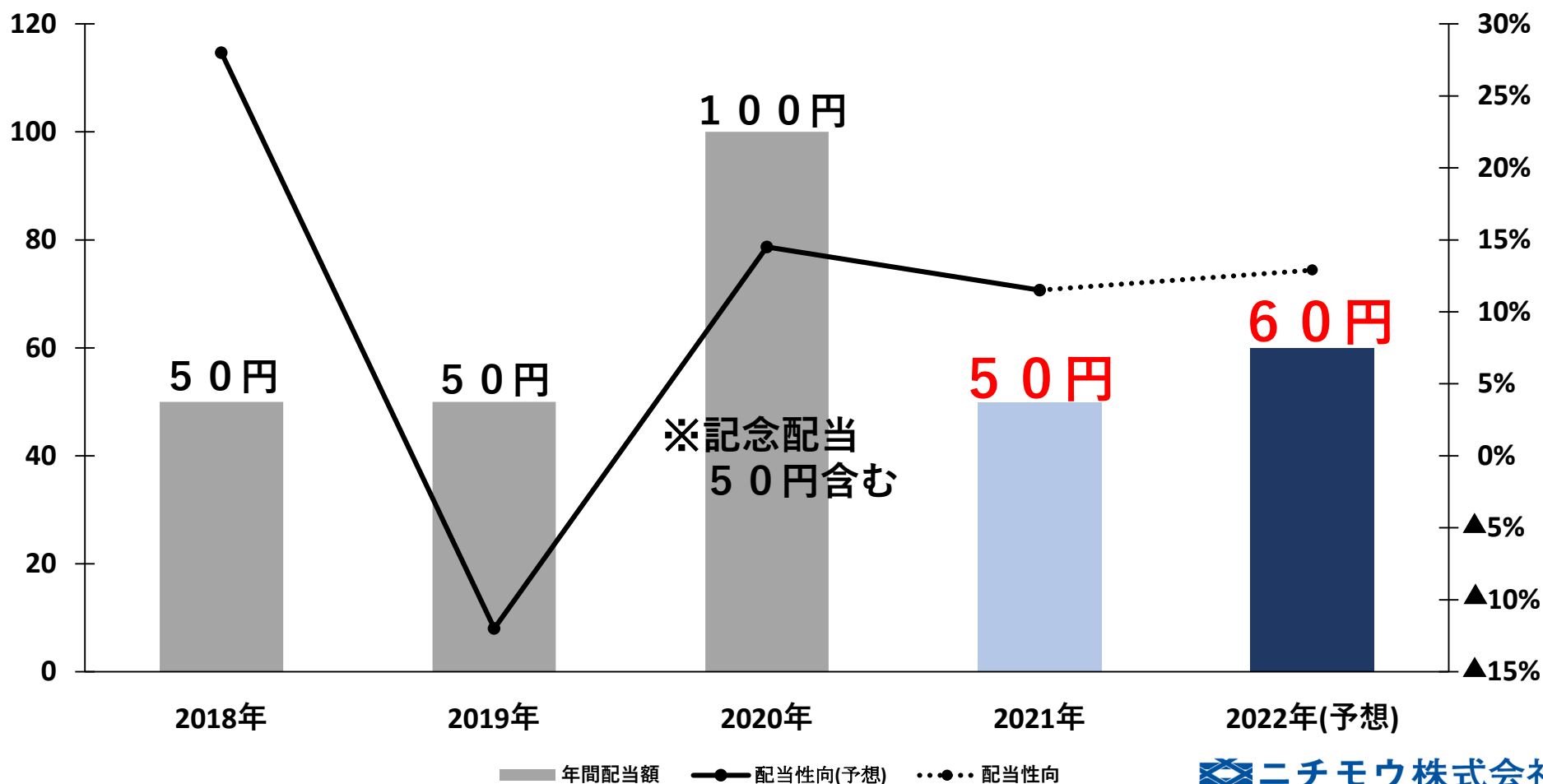
今後の見通し

新型コロナウイルス感染症に対する各種政策効果やワクチン接種の開始により事態収束に向けた期待感はあるものの、感染者数の増減に合わせて国内外の経済活動は一進一退を繰り返しており、景気回復には未だに時間を要するなど、大変厳しい状況が続くものと予想されます。

	2022年3月期	2021年3月期	前期比	前期増減率
売上高	110,000	113,317	▲ 3,317	▲ 2.9%
営業利益	2,000	2,177	▲ 177	▲ 8.2%
経常利益	2,300	2,362	▲ 62	▲ 2.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,600	1,491	+108	+7.3%

配当について

- 株主への安定的な配当の維持を基本としながら、企業体質の一層の強化および将来の事業展開に備えるため、内部留保の充実を勧奨し配分を決定
- 2021年3月期の期末配当金は1株当たり50円
- 2022年3月期の配当予想は当期実績より10円増配の1株当たり年間配当金60円を予定



資料取扱いのご注意

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的
事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これら
は現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいており
ます。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通し
とは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。
また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は
ニチモウ株式会社に帰属します。